



翌年の開館を待つ広島平和記念資料館。
完成当時は空っぽだった
1954年(昭和29年)7月11日 広島市 平和記念公園



路地裏で風船の大きさを競う子どもたち
1958年(昭和33年)1月2日 尾道市

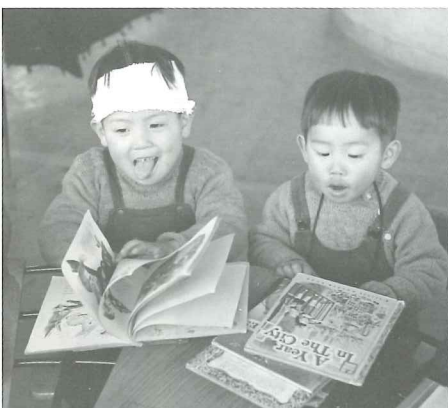


profile
明田弘司
あけだこうし
1922~2015

呉市生まれ。戦時中は中国で軍属として写真の仕事に従事。終戦後、1948年、広島市中区東千田町に「オリエン特写真工房」を開店。のちに「ヒロシマ・フォト・サービス」を新築。1949年には仲間たちと「ヒロシマ・フォト・クラブ」を結成し会長に就任。1952年の春、名取洋之助から記録写真の教えを受け、翌日から撮影を開始。以後、地域の写真文化の発展に大きく貢献した。表彰歴は、広島市長表彰3回、広島県知事表彰、勲五等瑞宝章など多数。

報道写真、グラフィックデザインの源流となる「日本工房」の創設者、名取洋之助から「広島市は原爆ですべて焼きつくされた。元に戻るのにこれから何年かかるかわからないがそれを記録しなさい」と教えられた。20代だった明田は感激し、翌日から撮影を始めた。その後、ありのままの街や人を撮り続け写真とともに生き、家族とともに生き抜いた。

明田弘司と 昭和の暮らしを 訪ね、歩く



丹下健三氏の設計で1953年に開館した児童図書館。
アメリカから寄贈された英語の絵本を楽しむ子どもたち
1955年(昭和30年)1月31日 広島市 児童図書館



雪の日の自転車での通勤ラッシュ
1950年(昭和25年)1月16日 広島市 紙屋町付近

主催／公益財団法人泉美術館、中国新聞社
協力／NPO法人広島写真保存活用の会

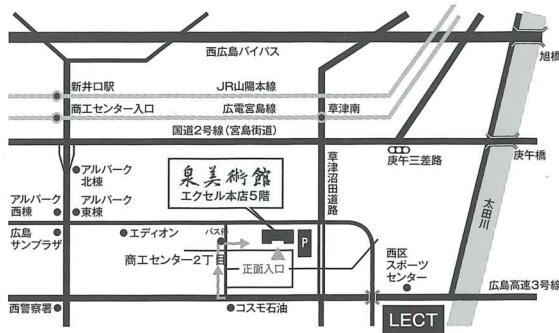
後援／広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ
広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅービー76.6MHz

- JR山陽本線「新井口駅」から徒歩約10分またはアルパークバスロータリーより「LECT行き」乗車、「商工センター2丁目」下車徒歩1分
- 広電宮島線「草津南駅」から徒歩約7分
- 駐車場無料(エクセル本店の駐車場をご利用下さい)

ごこちない孫娘と誇らしげな祖母
1958年(昭和33年)5月25日 倉敷市 教善寺 花祭り



駅の売店には子どもたちが喜びそうな品物が並んでいた
1957年(昭和32年)1月19日 広島駅



エクセル本店5階 広島市西区商工センター2-3-1 TEL 082-276-2600

公益財団法人
泉美術館